



この国の防衛費ってのは、イコール  
軍事費なのは誰でも分かるけどね！



100%なくすことは勿論不可能かと思いますが、それに近づける努力が政府にあったのかという点では、甚だ疑問であります。少なくとも、命からがら助かった命くらいは、あらゆる手段を講じながら全力で投資し、最悪の事態（関連死）を避けなければなりません。

別の新聞では「避難生活への公的物資が全く足りていない。これほど支援がない被災地（今回の能登）は、過去最悪である」とも書かれていました。しつこく書きますが、東日本大震災から13年も経っているのに！！です。

諸外国に学びながら、全国全ての市町村を対象に「この地区でこんな地震が発生したら、災害規模は？避難所対策は？支援物資は？」等々を細かくシュミレーションしていく体制を、一日も早く確立すべきです。

### 戦車も戦闘機もいらない！

何よりそういった指示や公的資金を出すのも政府の役目ですが、国会では裏金問題という犯罪行為のみみ消し？に躍起になっている現状では、前号にも書きましたが、世界中の笑いものです。戦車1台、戦闘機1機買う金でどれだけの方が助かるのか、私たち国民も真剣に考える時ではないでしょうか。

# 防衛費を地震対策に！②

（前号つづき）タイトルは、某新聞の読者投稿のページに使われたもので、これともう一紙の関連記事、個人的に思うことも含めて今回の記事としました。

## 災害のたびに露呈される 国の対策サボ！

東日本大震災から13年も経て、繰り返された能登半島地震での避難所の貧弱さに、私たちはもっと憤りを持って「防衛費なんか増やすより、災害対策を真剣に考えろ！」と訴えなけ

ればならないと思います。

## 関連死は想定外じゃ 済まされない！！

大規模震災のたびに出て来る「想定外」という言葉。その時々によって、地震の種類や地形、家屋や道路の状況等々、一概の対策は出来ず、想定外を

# うたてつノススメ31

## ルージュの伝言（荒井由美）1975年2月

あの人の ママに会うために  
今ひとり 列車に乗ったの  
たそがれ迫る町並みや車の流れ  
横目で追い越して

あの人は もう気づくころよ  
バスルームにルージュの伝言  
浮気な恋を早く諦めない限り  
家には 帰らない

不安な気持ちを 残したまま  
街は Ding Dong 遠ざかっていくわ  
明日の朝 ママから電話で  
叱ってもらおうわ My Darling

5枚目のシングル。歌詞は1番のみ記載。自作自演曲。あまり自分の趣味ではなかったが、70年代のこの頃は、本当に天才だったと思う。それまでのフォーク、歌謡曲といったジャンルに割り込んでくるようなニューミュージックという世界を確立させたのも、この人が発端だと思う。デビュー前は、スパイダースとかのGS連中に「こんな曲あるよ」と洋楽のレコードを提供していたことでも有名？直接的な鉄道ワードは「列車に乗ったの」だけだが、そのあとに続く「町並みや車の流れを横目で追い越して」とか「街は・・・遠ざかって行くわ」という歌詞に車窓から見える風景がさりげなく表現されている。お見事！それにしても「あの人のママ」という言い回しは、男がどうしようもないポンポンなのか、はたまた自分もお嬢様育ちなのか・・・？この曲のレコーディングは、かなり手こずったようで、最終的に山下達郎がアレンジ、プロデュースを務め、当時の一派であった吉田美奈子や大貫妙子らも加わり、古き良きアメリカンポップス風に仕上げ、歌詞とは裏腹に楽しさいっぱい曲になった。ツイストも踊れるぜ！

某アニメ映画の主題歌に使われたことでも有名なのかな。「バスルームにルージュの伝言」・・・映画のワンシーンのよう！洒落てるぜ！